

『学習指導要領改訂案を踏まえた小学校の英語教育に関するアンケート』
集計結果

2017年2月10日

共同ピーアール株式会社

アンケート概要

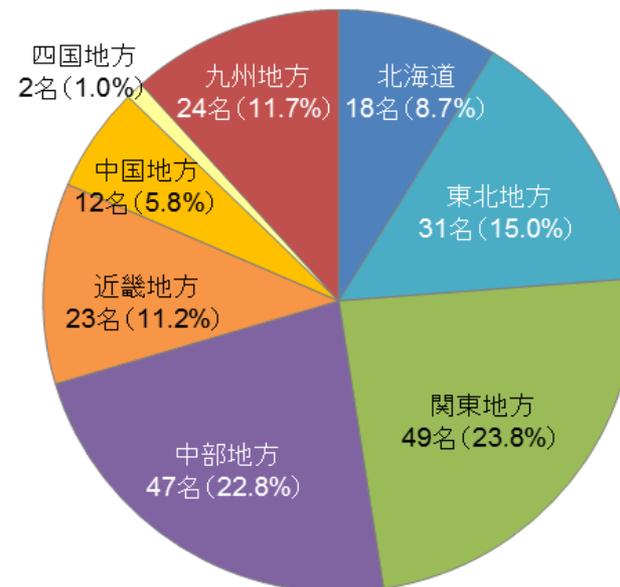
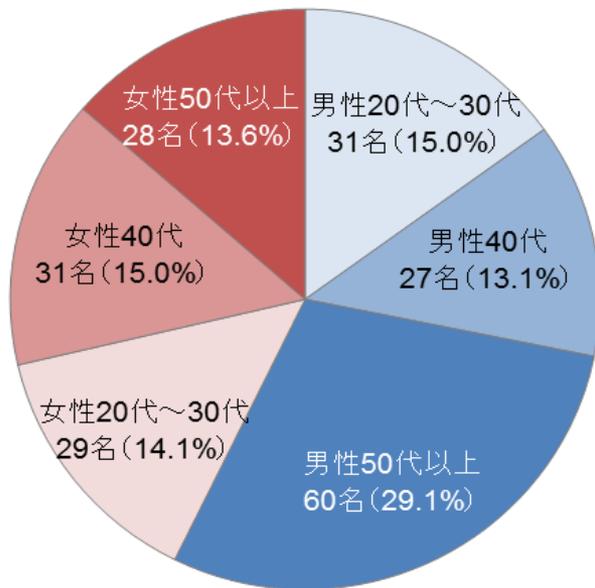
■ テーマ：『学習指導要領改訂案を踏まえた小学校の英語教育に関するアンケート』

■ 対象： 小学校の現役教員 206名

■ 調査方法： インターネットによる調査

■ 調査会社： 株式会社マクロミル

《回答者属性（ご参考）》



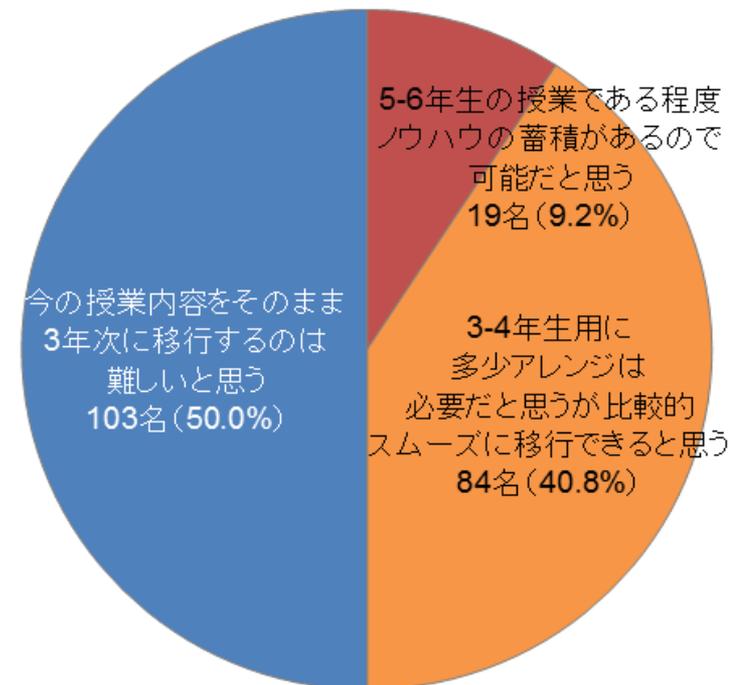
設問1

■ 小学校英語教育の早期化（3-4年生への外国語活動前倒し）について

Q1：「外国語活動」を3-4年生に前倒しすることについて、あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。

【コメント】

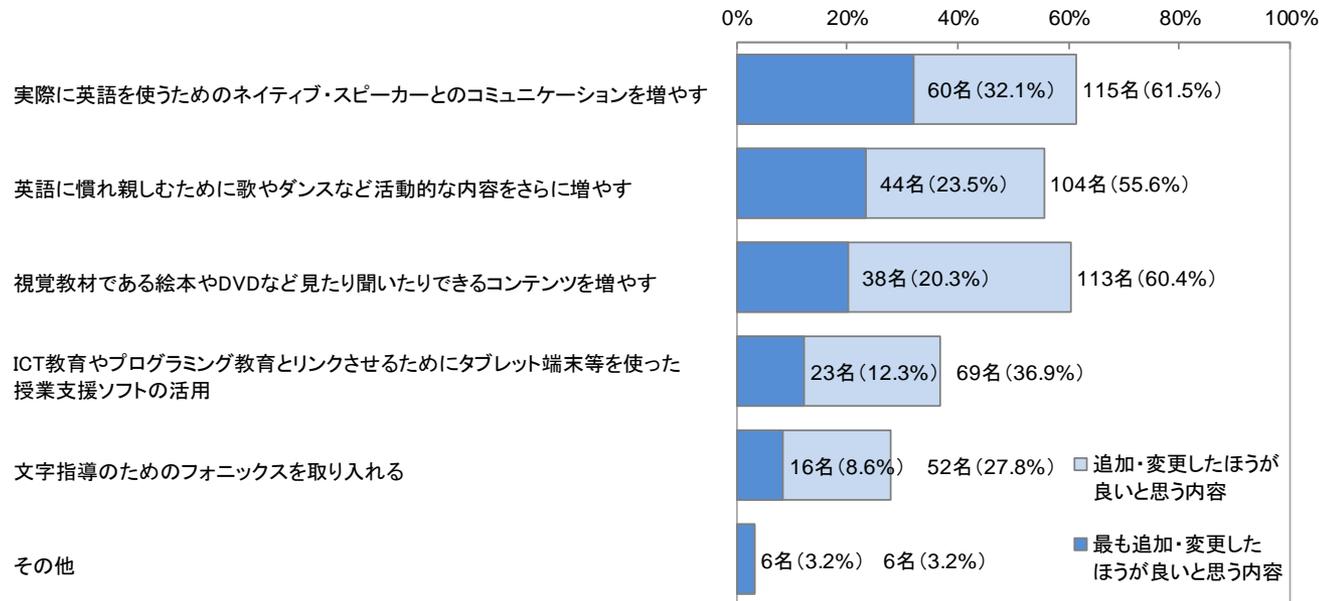
- ・前倒しするにあたっての授業内容の移行について、「そのまま移行するのは難しい」との回答が半数に。
- ・「多少アレンジが必要」との回答と合わせると、9割以上が何らかの調整が必要と考えていることがわかる結果に。



設問2

■ 小学校英語教育の早期化（3-4年生への外国語活動前倒し）について

Q2：（Q1で「難しい」「多少アレンジが必要」と回答した方に）
3-4年生に「外国語活動」を行う上で、追加・変更したほうがよいと思う内容を選んでください。



※「最も追加・変更したほうがよいと思う内容」のスコアで降順ソート

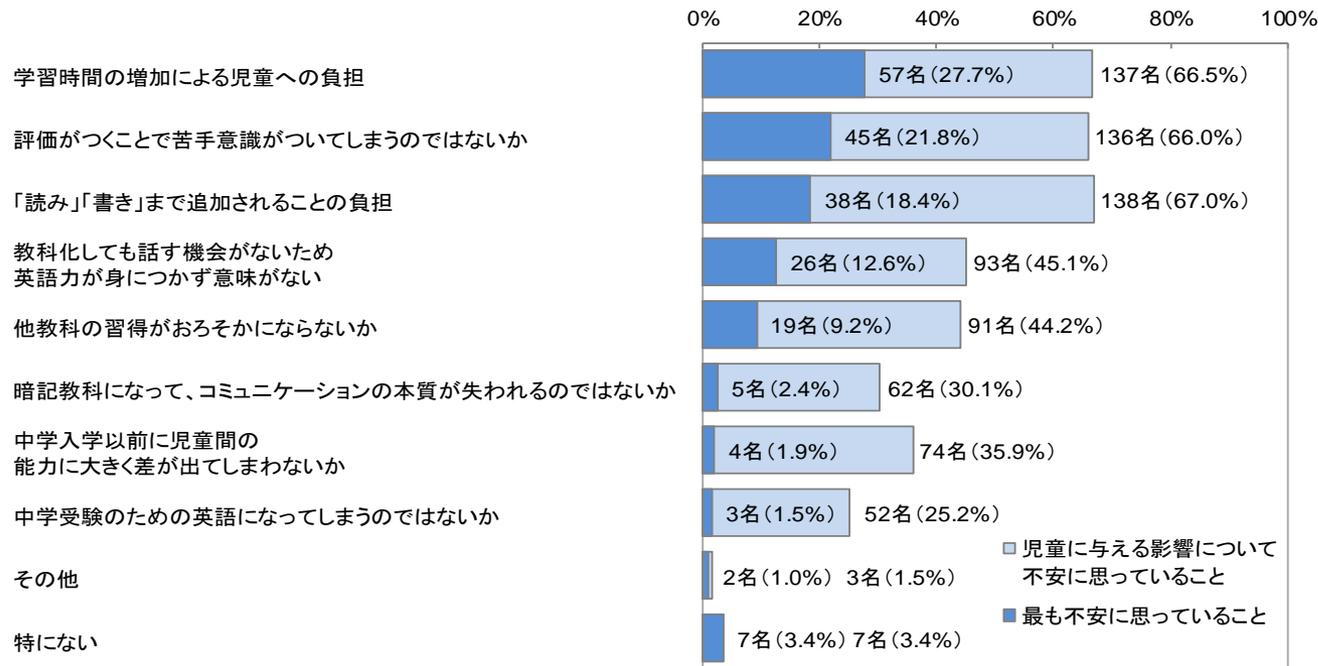
【コメント】

- ・「ネイティブスピーカーとのコミュニケーションを増やす」という回答が115名でトップに。
- ・「絵本やDVDなどの視覚教材（113名）」「歌やダンスなど活動的な内容（104名）」も僅差で続く。

設問 3

■ 小学校英語教育の5 – 6年次の「教科化」について

Q3 : 教科化が児童に与える影響について不安に思っていることを選んでください。



※「最も不安に思っていること」のスコアで降順ソート

【コメント】

- 不安に思うこととしては「読み・書きまで追加されることの負担（138名）」「学習時間の増加による児童への負担（137名）」「評価がつくことで苦手意識がついてしまうのではないかと（136名）」が僅差でトップ3に並ぶ結果に。

設問 4

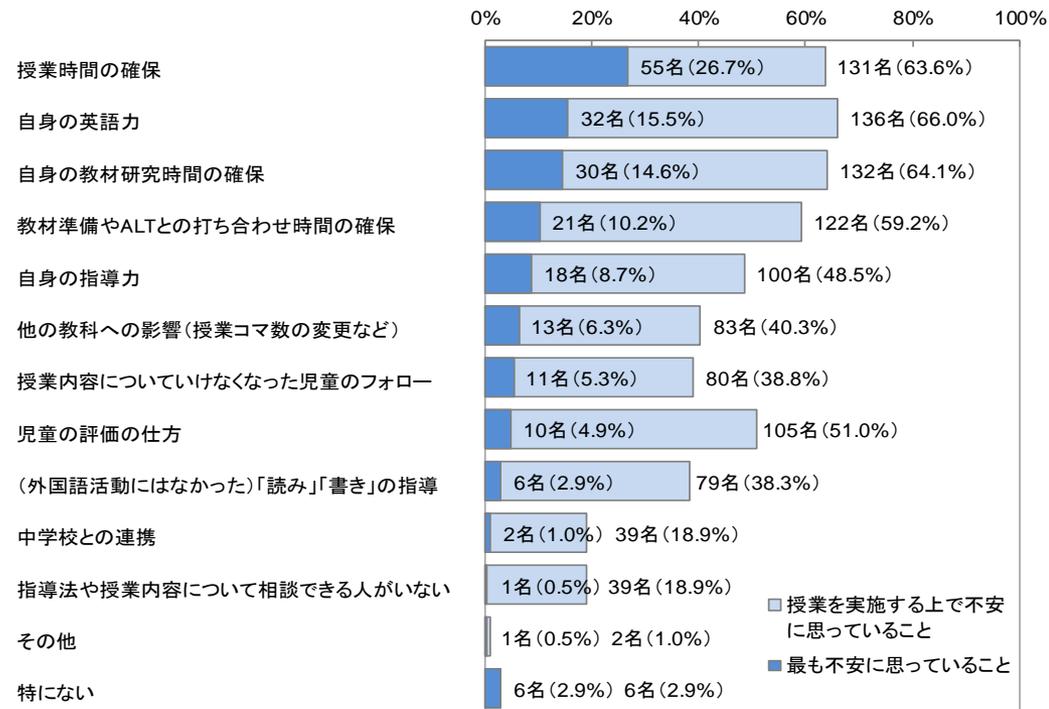
■ 小学校英語教育の5 – 6年次の「教科化」について

Q4 : (教科化されるにあたり) 授業を実施する上で不安に思っていることを選んでください。

【コメント】

「最も不安」に思っていることは、「授業時間の確保」(55名)がトップに。

・複数回答では、授業を実施する上での不安は「自身の英語力」(136名)がトップに。



※「最も不安に思っていること」のスコアで降順ソート

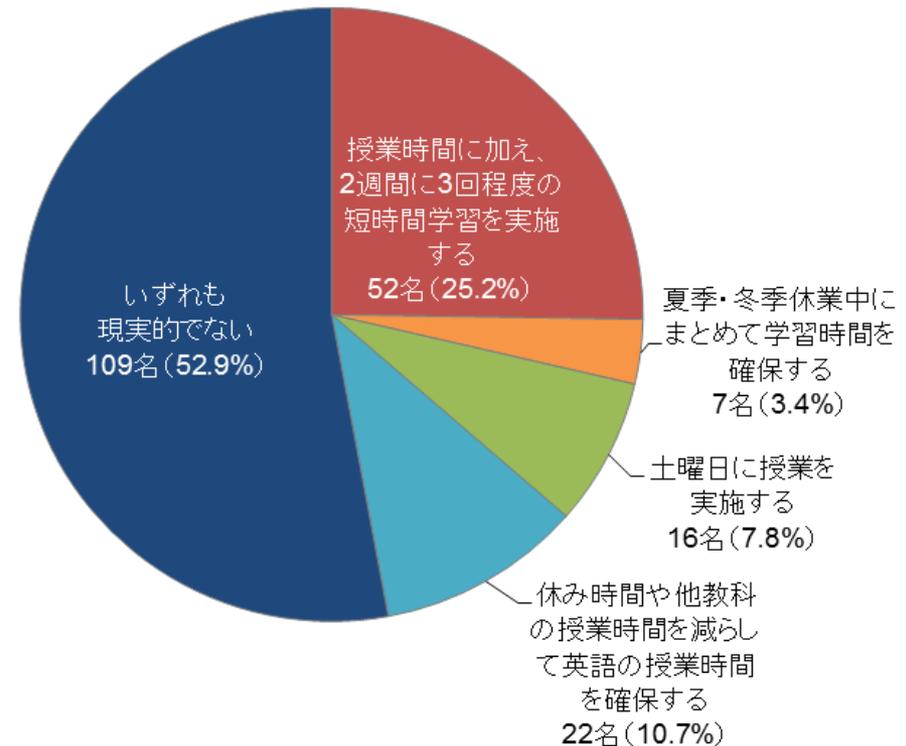
設問 5

■ 授業時間の確保について

Q5：授業時間の確保には弾力的な授業時間の設定や時間割編成が必要とされていますが、現在、議論に上がっているなかで、どのような方法が最も現実的と思いますか？

【コメント】

- ・現在議論に挙がっている方法の中では、「短時間学習の活用」が52名でトップに。
- ・ただし、「いずれも現実的ではない」という否定的な意見が半数を占める結果に。



設問6

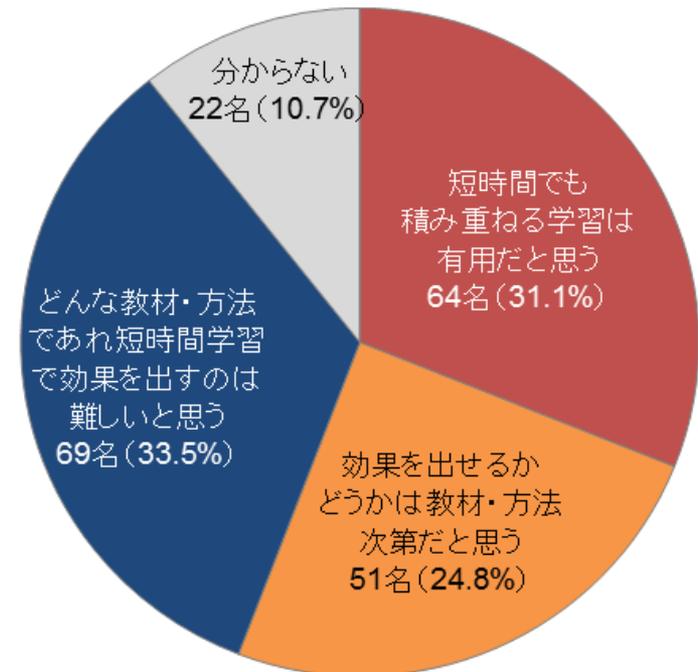
■ 授業時間の確保について

Q6：「短時間学習（モジュール学習）」で英語を教えることの効果についてどう思いますか？

【コメント】

・短時間学習が（「教材・方法次第で」という回答含め）効果を出せる可能性があると考えている先生が115名と半数を超える結果に。

・一方、どんな方法であれ効果を出すのは難しいという先生も69名と約1/3に上るなど、意見が割れる結果に。



設問 7

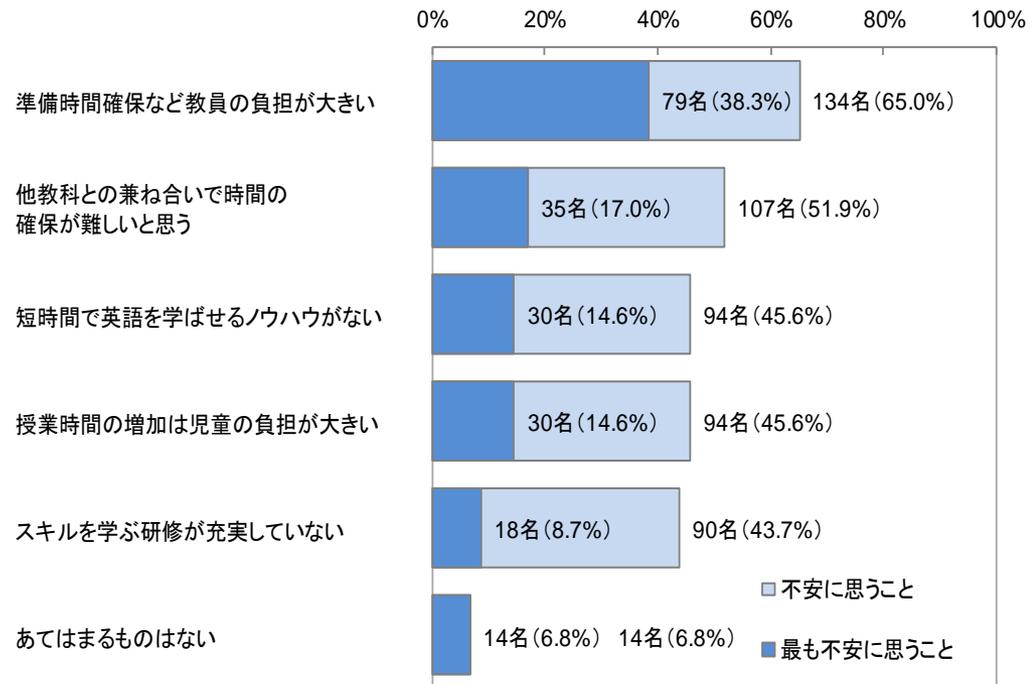
■ 授業時間の確保について

Q7 : 「短時間学習（モジュール学習）」の活用の現実性について、不安に思うことはありますか？

【コメント】

・不安に思うことのトップは「準備時間の確保など教員の負担が大きい」（134名）。

・以下、「時間の確保」「教えるノウハウ」「児童の負担増」「研修が充実していない」など、どの選択肢も90名以上の票を獲得するなど、「短時間学習」に対する不安が大きい模様。



※「最も不安に思うこと」のスコアで降順ソート

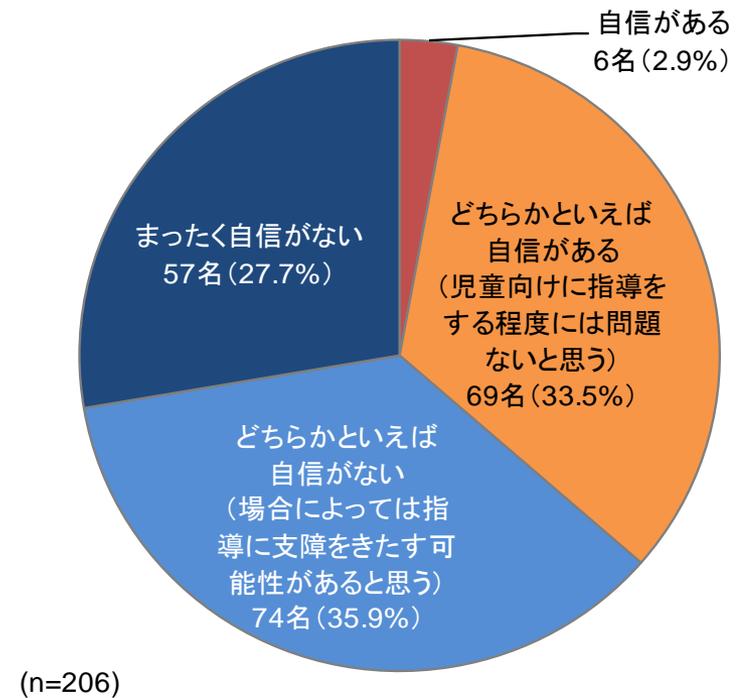
設問8

■ 授業運営について

Q8 : ご自身の英語力について、どのようにお考えですか。

【コメント】

・「自信がない」派が131名となり、6割以上が、英語を指導する上で不安を持っているという結果に。

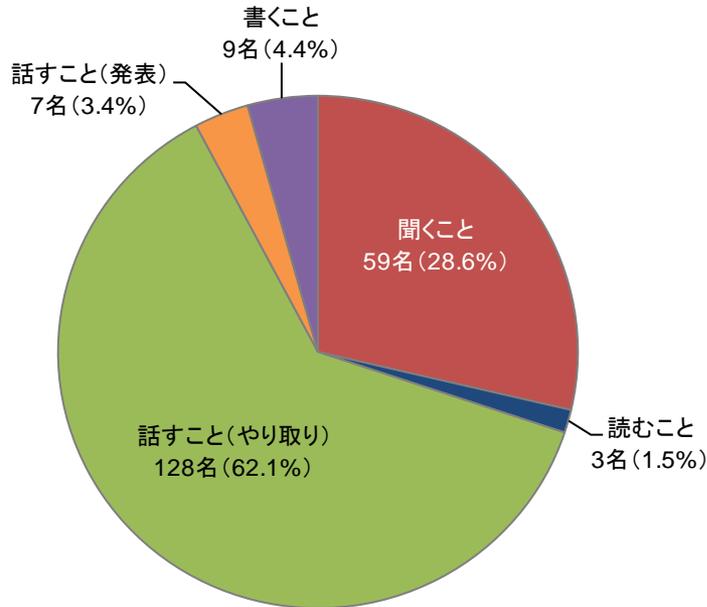


設問 9

■ 授業運営について

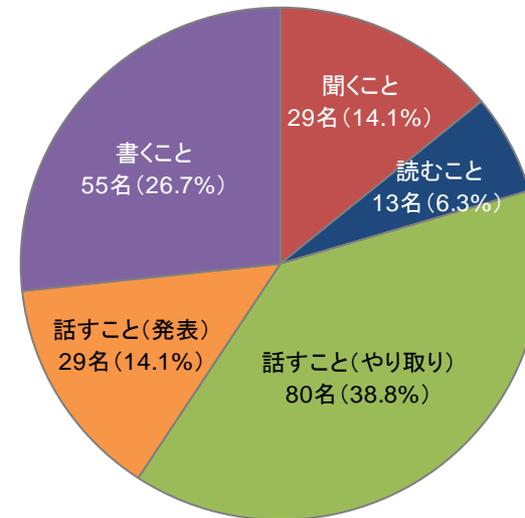
Q9： 「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5つの領域について小学校英語で特に重点的に教えるべきだと思うことを選んでください。また、小学校英語で特に教えるのが難しいと思うことを選んでください。

特に重点的に教えるべき
だと思うこと



(n=206)

特に教えるのが
難しいと思うこと



(n=206)

設問 10

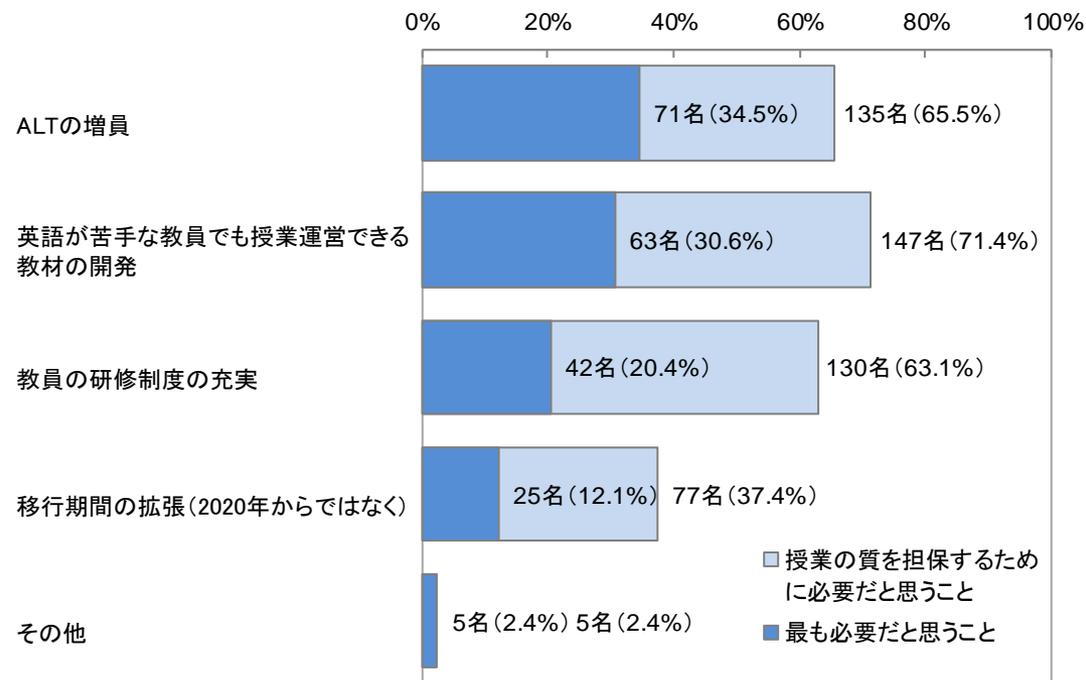
■ 授業運営について

Q10：授業の質を担保するために必要だと思うことを選んでください。

【コメント】

・トップは「英語が苦手な教員でも授業運営できる教材の開発」で147名と7割を超える結果に。

・以下、「ALTの増員」（135名）、「研修制度の充実」（130名）と続く結果に。



※「最も必要だと思うこと」のスコアで降順ソート